

雇用のあり方、 取り組み方

— 会員企業の立場から雇用の現状、問題点を考える —

第40回

人事労務のデジタル活用

株式会社ヒューマンリソースみらい
代表取締役 荒木康之
(特定社会保険労務士)

DX⇨デジタル化が止まりません。人事労務の分野においても、働き方改革で生産性の向上が求められ、さらには昨年来の急激なインフレからの賃上げに対応するため、デジタル活用が広く求められています。

幅広く活用が進み、当社でも色々人事労務のデジタル活用のお手伝いをすることも増えてきた人事労務のDX、先日展示会で取材したのも含め、どのような仕組みが有るかご紹介します。

勤怠管理システム

労務管理のDXといえ、まず勤怠管理システムは外せません。労働時間の管理については手書きによる出勤簿は原則認められなくなってきたております。労働時間の上限規制や健康管理の面から、労働時間の把握を客観的な方法で行うことは事業

主の責務です。勤怠管理システムを使えば勤務状況をリアルタイムで把握できますし、集計作業が非常に楽になります。また年次有給休暇の年5日取得義務の管理は、勤怠管理データをデジタルで把握することで容易に可能になります。勤怠管理システムの打刻方法はレコーダーにICカードでタッチする以外にも、パソコンやスマホで打刻する方法や、指紋や静脈・顔による認証もあり色々な打刻方法が用意されています。

勤怠管理システムを使うと、なぜ労働時間が多く掛かっているのかという問題点が、職場の長年の慣習も含めて可視化出来ます。労働時間の短縮は、即労働生産性の向上につながります。「勤怠管理システムの活用」を記録方法の違いと捉えることなく、生産性向上の第一歩と捉えてみてはいかがでしょうか。

なお、勤怠管理システムの費用は、

一般的に一人月3000円程度です。

クラウド型給与計算システム

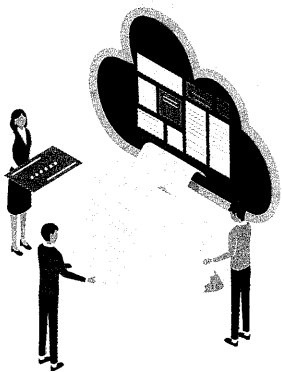
勤怠管理システムと相性が良いのがクラウド型の給与計算システムです。従来の給与計算システムはパッケージソフトになっているのに対し、クラウド型はWEB上で計算を行います。勤怠管理システムで集計した勤怠データをAPI連携によって半自動的に給与計算を行うことも可能となっています。給与データの情報共有が出来ること、法律改正や料率の変更にもスムーズに対応して

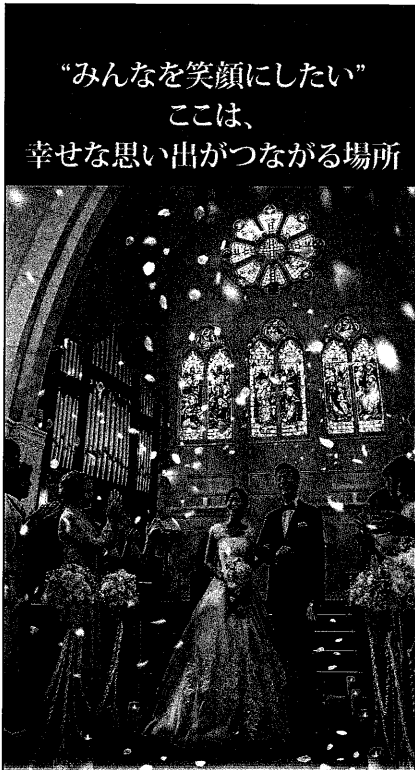
いること、給与明細は基本的にWEBで確認する機能となっていることなどから作業負担の軽減に役立ちます。

費用は、給与計算機能だけの利用であれば、一人月3000円程度ですが、年末調整やマイナンバーの管理が加わると、それぞれに、一人月3000円程度加算されていきます。

人事労務データの管理システム

人事労務に関するデータの基本となるのが従業員個々のデータです。入社年月日、生年月日、家族情報などの人事管理データベースです。人事労務ではそれぞれのシステムに同じような人事労務情報を入力する手間が発生しています。それを統括して一つのシステムに入力し、自動・半自動で他のシステムと連携することで大幅な負担軽減を図ることが出





“みんなを笑顔にしたい”
 ここは、
 幸せな思い出がつながる場所

Fun for everyone.

みんなで喜び、みんなで驚き、みんなが感動



結納式・飲送迎会・忘新年会・
 会議・クラス会にもご利用下さい。

感染防止対策を強化しております
 安心してご利用ください

Royal Hall Yokohama

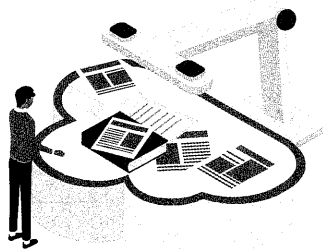
(セントパトリック・チャーチノイアルホールヨコハマ)

〒231-8544 横浜市中区山下町90番地

☎0120-17-1122

みなとみらい線：日本大通り駅 出口③
 [情文センター口]より徒歩2分

<https://www.royalhall.co.jp/>



来ます。また非常に手間がかかっている年末調整についても、データの収集をスマートフォンなどで行えるように行えるようになっております。

人事管理データベースを元に、人事評価やES（従業員満足度）調査、モチベーション分析なども統合し、人材の活用や離職防止といった機能も持たせるような総合的なシステム

その他

最後に展示会で発見した面白いシステムをいくつかご紹介します。

が増えてきています。一つのシステムでなんでも出来てしまう利便性がある一方で、使わない機能が有る場合もあります。そのためデータベースを主体にした機能に絞っているシステムも見受けられます。費用についてはシステムの内容により千差万別です。機能を絞り込んだものは一人月1000円程度からありますが、幅広い機能を備えるとして一人月10000円を超える料金もあります。

まず離職理由に焦点を照らしたシステム。本音を語らずに離職する人が多いために、自社の問題点に気づかずにいることが多くあることから、離職者に対するアンケートなどを通じて離職防止に活かし、採用コストを抑えていくことを目指します。採用や新人の教育コストと比較すると大いに検討する価値がありそうです。離職防止の面から、サンクスカードのスマホアプリも面白いと思います。アプリで簡単に「ありがとう」の気持ちを伝え、満足度の向上やコミュニケーションの活性化につながりそうです。在宅ワークでなかなか顔が見えない場合など活用できそうです。

次に翻訳システム。外国人の採用が増えていますが、社内での文書をAIによる多言語化によって外国人従業員とも情報の共有化を推進しやすいシステムがありました。翻訳をするサービスがいくつかありますが、社内文書等の多言語化は今後大きな課題になると思われますので注目です。

ちなみに弊社ではAIを活用した就業規則や契約書等のチェックや導入を行いました。色々と使ってみて生産性が向上や能力向上に寄与するか、実験中です。